

[成果情報名]ブランド化を目的とした新品種の効果的なネーミング

[要約]品種名は、食味やかわいらしさ、面白さとの関連によって消費者に高く評価されており、育成地名の効果は大きくない。また、既存の品種名に見られるように、育成品種のネーミングは出荷先や栽培許諾等の戦略的な活用方針と整合的に行うことが求められる。

[キーワード] 品種名、ネーミング、イチゴ

[担当]福島農総セ・企画経営部・経営・農作業科

[代表連絡先]電話 024-958-1700

[区分]東北農業・基盤技術（経営）

[分類]技術・参考

[背景・ねらい]

各地で青果物を中心に農産物新品種が育成され、生産物のブランド化を目指す取り組みが活発である。ここでは、消費者にとって青果物の商品選択において重要な指標となる品種名について、各地で新品種の育成が盛んなイチゴを対象として既存品種のネーミングを整理し、それらに対する評価を分析することによって効果的なネーミングの在りかたを明らかにすることを目的とする。

[成果の内容・特徴]

1. 市場シェアの大きい品種名では、産地の出荷先を考慮して育成地名を含まないネーミングも行われている。また、競合する他品種に対して面白みのあるネーミングで独自性を出そうとする意図も見られる。これらネーミングを県外許諾等の品種の戦略的活用と整合的に行うため、品種名の候補を組織内部から提案する例もある（表1）。
2. 分析に供した「とちおとめ」「あまおう」「ふくはる香」「ふくあや香」「さちのか」「紅ほっぺ」「さがほのか」「もういっこ」の8品種のうち、品種名の評価が高いのは「とちおとめ」「紅ほっぺ」「あまおう」である（表2）。
3. 「食味訴求」「かわいらしさ」「おもしろさ」「イチゴ適合」「育成地名」「力強さ」「いい名前だ」等の品種名の評価項目について、質問紙法を用いて重要度・影響度分析を行うと、「食味訴求」や「かわいらしさ」「面白さ」は品種名の高い評価に寄与している。また、「もういっこ」の「イチゴ適合」は重要度が負かつ影響度が正であることから、イチゴらしくないネーミングも評価されている。「育成地名」の示唆は「あまおう」「もういっこ」といった示唆がないものについては重要度と影響度が負であり、「とちおとめ」「ふくはる香」のように示唆のあるものについては重要度が高いものの影響度は小さい（図1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 新品種のネーミングは育成コンセプトや産地戦略との整合が重要であるため、候補名の決定にあっては、当該品種の生産・流通環境を的確に踏まえることが重要である。
2. 本成果は中小規模の産地が新品種を育成してブランド化を図る場合に参考となる。

[具体的データ]

表1 ネーミングの意図

品種名	育成権者	ネーミングのねらい	県外許諾	内部提案
とちおとめ	栃木県	栃木県のイメージ、女性的印象による親しみを込めた	○	×
さちのか	農研機構	産地を特定せず全国に広がることを願って	○	○
さがほのか	佐賀県	佐賀県の独自品種として覚えやすく呼びやすいもの	○	一部○
紅ほっぺ	静岡県	京浜市場で売るために地方色が無いもの	○	一部○
あまおう	福岡県	赤い・丸い・大きい・うまい、甘い王様として	×	×
ふくはる香	福島県	福島県をイメージ、春をイメージ	×	×
ふくあや香	福島県	福島県をイメージ	×	×
もういっこ	宮城県	育成地名を付けたものが多いなかで特徴を出す	○	○

注：育成権者へのヒアリング調査から一部抜粋して構成した。なお、品種名は登録順である。

表2 品種名の評価

品種名	中央値
とちおとめ	1.06 ^a
さちのか	-0.01 ^c
さがほのか	0.12 ^c
紅ほっぺ	0.77 ^{ab}
あまおう	0.70 ^{ab}
ふくはる香	0.39 ^{abc}
ふくあや香	0.23 ^{bc}
もういっこ	-0.07 ^c

注1：質問項目「いい名前だ」を総合評価とし、全然そう思わないを-3、非常にそう思うを3とした7段階スケールで回答を得た。

注2：品種間について、Schefféの方法により異符号間に有意水準5%で差がある。

注3：評価者は、福島県農業総合センター職員のうちイチゴに関する業務に携わっていないことを条件に抽出した95名である。なお、調査にあたり育成地名は示していない。

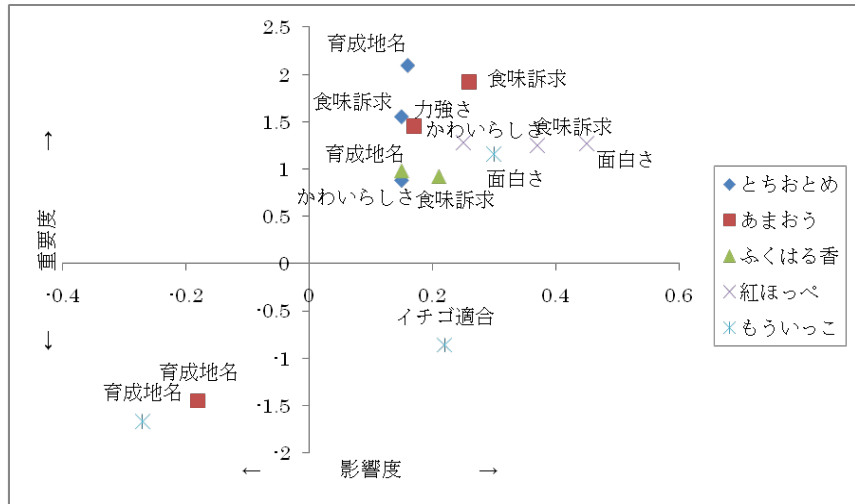


図1 品種名評価項目の重要度と影響度

注1：特徴的なものを抜粋して示している。

注2：「食味訴求」「かわいらしさ」「おいしさ」「イチゴ適合」「育成地名」「力強さ」「いい名前だ」等の品種名の評価項目について、全然そう思わないを-3、非常にそう思うを3とした7段階スケールで得た回答を重要度として、「いい名前だ」で表される総合評価に対する偏相関係数を影響度としてプロットした。

注3：評価者は、福島県農業総合センター職員のうちイチゴに関する業務に携わっていないことを条件に抽出した95名である。なお、調査にあたり育成地名は示していない。

(福島県)

[その他]

研究課題名：新品種の育成による青果物ブランド化の消費者行動論的研究

予算区分：園芸振興松島財団研究助成

研究期間：2010年度

研究担当者：半杭真一